

令和5年度 まつにし  
**進路だより**

令和5年12月4日発行 vol.7  
松橋西支援学校 進路指導部

校訓 **伸びよ 大きく**

## 後期現場実習が無事に終わりました！～そして次に向けて～

本校高等部1・2年生と分教室の生徒たちの後期現場実習が無事に終わりました。



本校一年生は初めての实習に全員行くことができ、貴重な経験を積むことができました。2年生は、さすが3回目の実習で落ち着いて実習にのぞみ、作業内容や実習の時間などこれまでより高い目標を立てて取り組むことができました。事後学習では、今回の経験をしっかりと振り返り、実習報告会（授業参観）の

場で一人一人成果と今後頑張ることを発表することができました。



今回は、実習に臨むうえで、学校と家庭、実習先とが密に情報共有を行うことの大切さを感じる実習でもありました。事前の打ち合わせで3者で情報共有を行うのですが、生徒たちが短期間の実習の中で信頼関係を作ることの難しさや、受け入れる側も生徒理解や支援方法の



周知など難しい面がありました。だからこそ、毎日の実習日誌の記入や送迎時、巡回指導時に、家庭での様子や学校での取組や支援方法について実習先と共有することがとても必要だと感じました。また、普段学校で何気なく行っている支援や関わり方なども社会に出ると同じように受けられないことや不適切とされてしまうということについて



でも改めて考えさせられました。今後も児童生徒が学んだことや身につけた力を卒業後のくらしでも十分に発揮できるよう、日頃の指導支援を考えて実践していきたいと思います。これから個別面談等でそれぞれの実習を振り返り、来年度前期の実習先選びに向けて動いていきます。



## 中学部「職業体験学習」～初めて「はたらく」を考える～

11月13日～24日まで、中学部では「職業体験学習」に取り組みました。近隣の企業や福祉事業所に協力いただき、職場見学や作業体験をさせていただきました。



職場での仕事の様子やそこで働く人々から「はたらく」ことを間近に見て体験し、肌で感じたことも多かったと思います。この経験は高等部に進学した際に、実習先を考えるうえで貴重な学びと経験にもなります。この学習をきっかけに、世

の中の仕事や将来はたらくことについて関心や具体的なイメージをひろげていってほしいと思います。



## キャリアアップウィーク12月は「掃除・整理整頓」です！

11月は、「言葉遣い」に取り組みました。高等部では、実習に向けての事前学習でも、あいさつや丁寧な言葉遣いについて触れ、意識を高めました。しかし、事後の振り返りや実習先からの評価からは言葉遣いに課題があった生徒も見られました。やはり普段の言葉遣いが実習先でも出てしまうようです。そのため実習報告会では今後の目標に言葉遣いをあげた生徒もいました。初めての場所であっても周囲に受け入れられやすい敬語や丁寧な言葉遣いを日頃から心がけていきたいと思ひます。



12月のキャリアアップウィークは、「掃除・整理整頓」です。これから学期末や年末に向けて大掃除や物の整理や片付けを行っていくと思ひます。また、高等部は修学旅行で行った先や交流や参観などで学校に来る方々などが気持ちよく施設や学校を使えるように、使ったものをも

との場所に戻す、きれいに使うなども意識していきたいと思ひます。また、今年も12月19日(火)に高等部で熊本県教育委員会が主催する熊本県特別支援学校技能検定(清掃)が行われます。受検者は普段の掃除などにも生かせるよう、さらに高い清掃技能の習得を目指します。技能検定については次号でもご紹介したいと思ひます。



## 同窓会活動のご紹介～「二十歳のつどい」～

松橋西支援学校では、本校中・高等部を卒業されたかたの「松橋西同窓会」と分教室を卒業されたかたの「上益城分教室同窓会」とそれぞれ分かれて運営しています。コロナで自粛していた同窓会活動もこの一年で少しずつ再開しており、11月19日(日)には、松橋西同窓会の「二十歳のつどい」を開催しました。令和3年度卒業生をお招きし、二十歳の区切りをご家族や旧担任とお祝いしました。晴れ着やスーツに身を包んだ参加者は、巡回などでお見掛けする姿とまた違って一際大人に映りました。卒業して2年ぶりに松西を訪れた参加者もいらっしやり、近況など報告しあって束の間の再会を喜びました。分教室でも来年1月に「二十歳の集い」を計画しています。卒業後の余暇の一つとして同窓会のイベントにも期待の声が多く寄せられます。今後もイベントなどを通して卒業後も松西と繋がる機会、卒業後の余暇の充実を図っていき



たいと思ひます。